

研究課題名	ZONE 2 TEVAR における 左総頸動脈-左鎖骨下動脈吻合の有用性についての検討
研究責任者名	医系科学研究科外科学 教授 高橋 信也
研究期間	実施許可日 ~ 2025年12月31日
対象者	2012年1月から2023年12月までに胸部大動脈瘤に対して胸部ステントグラフト内挿術(TEVAR)を施行された患者のうち、左総頸動脈-左鎖骨下動脈吻合による左鎖骨下動脈再建術を施行された患者
意義・目的	<p>胸部大動脈瘤の治療として胸部ステントグラフト内挿術が広く行われるようになってきました。左総頸動脈と左鎖骨下動脈の間にステントグラフトを留置する ZONE 2 TEVAR において左鎖骨下動脈をステントグラフトで単純閉鎖する方法がとられてきましたが、脳梗塞や脊髄虚血の発症頻度を上げるとする報告があります。そのため、当科では積極的に ZONE 2 TEVAR を行う際に左鎖骨下動脈再建を実施しています。しかし、長期予後は不明であり、ZONE 2 TEVAR を受ける患者さんにとってより良い治療を考えるために情報収集を行い検討を行うことにしました。</p>
方法	<p>具体的には、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査（クレアチニン値、eGFR など）、手術前後の情報、術後の外来での検査結果などです。</p> <p>取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。</p>
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学 医系科学研究科外科学 教授 高橋信也
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>T e l : 082-257-5215</p> <p>広島大学病院 心臓血管外科 教授 高橋信也</p>